

過去の出題傾向について確認しておこう！

北大入試研究[生物]

▶ 出題一覧表

過去 10 年分の北海道大学の入学試験(生物)で出題された分野を、次の表にまとめた。

	①	②	③	④	⑤
2016	細胞, 遺伝子	神経	細胞, 生活史, 重複 受精, 植物の発生, 遺伝子, タンパク質	進化, 生態	—
2015	遺伝子, 発生	光合成, 進化, 個体群	遺伝子	進化	バイオーム, 個体 群, 植物の反応
2014	遺伝子, 呼吸	遺伝, 遺伝子	タンパク質, 酵素	神経	—
2013	減数分裂, ホルモン, 性周期	酵素, 呼吸, 筋収縮	一遺伝子一酵素説, 遺伝	神経, 視覚	—
2012	転写, 翻訳, 複製, PCR	すい臓, 消化, ホルモン	植物の水の移動, 浸透圧	集団遺伝	個体群の相互作用
2011	細胞周期, 減数分 裂, DNA	チロキシン	組織培養, 細胞融 合	系統樹と分類, 五 界説	陸上, 水界の生態 系
2010	条件遺伝子	循環系 心臓の構造	形質転換 T2 フェージ	生物群集と生態的 平衡	陸上植物の系統, 生活環
2009	神経, 行動 フェロモン	種皮・胚乳の遺伝	転写・翻訳	自然選択	被食・捕食の関係
2008	発生と予定運命, 誘導	伴性遺伝, X 染色 体不活性化	組織培養, 植物ホ ルモン	生産構造図	—
2007	酵素, コドン, PCR	視覚, 聴覚	陸上植物の進化, 植物ホルモン	生命表, 生存曲線	—

▶ 分析と対策

- 「生物の集団と生態系」「生物の進化と分類」は、2009 年度～2012 年度まで選択問題として出題されていた。2015 年度には課程変更による移行措置として、選択問題が出題されたと考えられる。
- 「環境と動物の反応」は毎年出題されていた。
- 2008 年度までは遺伝が頻出であったが、2009 年度以降 DNA 関係の出題が頻出になっている。
- 植物関連の問題も出題頻度が高い。
- 描図問題が出題されることもある。

知識問題は教科書レベルの内容で十分であるので、まずは教科書をベースにしっかりと知識を押さえたい。また、以前は難問が出題されたが、2009 年度以降難問は出題されず、論述も短めのもので、取りこぼさないように気をつけたい。論述は 50 字程度のものが多いので、短く文章をまとめる訓練をしておこう。